

感染拡大時の保健・医療提供体制について

保健・医療提供体制	オミクロン株 特別対応	
	病床確保レベル 2	病床確保レベル 3
医療機関	病床確保レベル 3 へ一気に移行 オミクロン株新規陽性者数が概ね 100人/日以上 (7日間平均)又は増加比が概ね 300%以上 が 2週間継続 の場合	確保病床 (計画) 6,891床 <small>※感染者の重症度、病床の使用状況、一般医療への影響等を考慮して順次実施</small>
入院待機ST		46床 (平成立石病院 20床、永生病院 16床、東京北医療センター 10床)
酸素・医療ST【施設型】		600床 (日赤羽中央総合病院 150床、築地デポ 191床、調布庁舎 84床、都民の城 140床、区主導型(練馬) 35床)
酸素・医療ST【病院型】		120床 (荏原 40床、豊島 40床、多摩南部地域病院 20床、多摩北部医療センター 20床)
宿泊療養施設		1月中旬以降 4,760室 体制、さらに居室確保に向けて調整中
検査体制	行政検査：1月以降 約10万件/日 、無料検査： 最大3万件/日 (~1/31)	
自宅療養体制	発熱相談センター の体制強化(100回線(30回線増))	
	自宅療養者 フォローアップセンター の体制強化(計画の250名体制からさらに増員)	
	入院調整本部 の体制強化(軽症者の入院調整等の体制整備)	
	医療機関による 健康観察 の促進(協力機関の募集で約1,000医療機関から応募あり)	
保健所体制	自宅療養者の 往診体制 を強化(都内全域オンライン診療、広域的に実施する10医療機関を先行指定(追加指定あり))	
	経口薬 の提供体制の確立(医療機関958件、薬局1,317件登録済)	
	人材確保 、健康観察の進捗の 見える化 や チャットボット 、 ウェアラブル端末 による健康観察を先行実施	
ワクチン	保健所を通さず宿泊療養を希望する患者が直接申し込む体制を強化、広報を展開	
	医療従事者 及び 高齢者施設入所者・従事者 (R3.12~追加接種(3回目接種)開始)	
	一般高齢者 (R4.1~追加接種)、 警察・消防関係者 (R4.3~追加接種)を前倒し	